

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年5月18日(木)	確認目的	使用前検査の状況
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード(放水立坑(上流水槽)、移送設備(緊急遮断弁))		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他
確認 結果	<p>希釈放出設備である放水立坑(上流水槽)において、東京電力が原子力規制庁による使用前検査(耐圧・漏えい検査)が受けていることから、状況を確認した。</p> <p>また、移送設備に設置されている緊急遮断弁のシーケンス検査(海水配管ヘッダ付近)が行われていることから、状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放水立坑(上流水槽)における耐圧・漏えい検査は満水位まで上流水槽に海水を満たし、24時間以上経過したのち、その水位低下が5mm以内に収まっているかどうかを確認するという手順が進められる。本日は槽に設置された金尺により開始水位を確認した(明日の24時間以上経過後、再度、水位を確認する。)(写真1) 緊急遮断弁のシーケンス検査では、免震重要棟からの緊急停止信号によって、緊急遮断弁が基準時間内に「開」から「閉」に動作するかどうかを確認するという手順が進められた。 ストップウォッチを用い、緊急遮断弁(海水配管ヘッダ付近)が基準時間内に「閉」動作するかどうかについて検査が実施された。計5回の動作確認が行われ、いずれも基準時間内に緊急遮断弁が動作していた。(写真2) 		
			
	(写真1-1) 上流水槽外観	(写真1-2) 上流水槽内部の状況	
			
	(写真1-3) 検査の状況	(写真2) 緊急遮断弁の検査の状況	